

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スターキッズ梅屋敷				公表日	令和 8年 3月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		東京都指定により、教室の広さは児童1名に対し、4㎡と定められています。当事業所は71.71㎡あり、児童が活動する十分なスペースが確保されています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童10名に対し、職員2名が基準として設定されており、2名以上で対応しています。全職員が有資格者として対応しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口の段差以外はバリアフリーとなっており、入室の際には必要に応じて指導員が手を引く等安全に配慮して対応しております。また、室内にコーナーガードを設置しており、衝突時の安全を確保しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		教室内の清掃、消毒は毎日おこなうとともに空気清浄機も使用しており、清潔な生活空間が保たれるよう配慮を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を落ち着ける場所であったり、着替えを行う場所として適宜使用しております。また、体調不良時の休む場所であったり、受験やテストの近い児童の勉強場所としても使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日職員ミーティングをおこなっており、全日の振り返りを行い、全体での情報共有や改善をおこなっております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を1年に1回お願いしており、保護者の皆様から頂いたご意見をもとに改善させていただきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングを通して職員が自由に意見を言える場を設けており、療育内容について話し合い、改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		姉妹教室と連携を図りながら改善に繋げる事や、意見をもらいながら業務改善にも繋げています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1度、全社員参加の職員会議を行っており、「虐待防止」や「感染対策」の研修も行い、支援の質の向上を図っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）をもとに作成しており、HPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		契約の際にアセスメントシートを記載していただき、モニタリング時に更新を行っております。個別支援計画も概ね半年に1回、保護者の方のご意見やアセスメントシートより作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング後に、職員間で支援計画の内容を話し合う場を設け、内容についても共有することで課題の検討を行っております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各職員が個別支援計画を確認し、個々の目標や課題等を意識しながら活動内容を検討し、取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGにて日々の児童の様子をサービス提供記録に記録し、全体の活動日誌も合わせて記録しています。アセスメントシートに関しては、1～5の5段階評価で記載を行えるフォーマットを使用しており、モニタリング時に更新を行い、アセスメントを最新のものにしておくことで発達や成長が詳細に分かるようにしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインと照らし合わせて「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら具体的な支援内容・目標を設定するよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティング時に活動内容について、児童の様子も確認しながら話し合い決めています。また、当日の児童の様子によって臨機応変に対応しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の様子をみながら、プログラムを考えており、固定化しないように工夫をおこなっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を中心に組み立てていますが、児童の様子を見ながら適宜個別活動でも対応をおこなっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々のミーティングの際に、内容等について確認しています。状況に応じての変更もしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		重要なことに関しては、当日のうちに共有しています。また、翌日のミーティングで児童の様子等について振り返り、支援のポイントについて職員間で共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に当日の様子についてHUGを使って業務日報やサービス提供記録を作成しています。また、その時の様子を振り返る事で、改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね半年に1回モニタリングをおこなっています。教室やご家庭・学校での様子から計画の見直しについて話し合い、適宜変更を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		適宜ガイドラインを見て振り返る事で、児童の自立に向けた支援に繋がるよう努めています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で選択肢を提示し、自身で選択する機会を設けています。繰り返し経験を積むことで自己決定する力が身に付くようにしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			今年度の実績はありませんが、場面や状況に応じて、児童の様子を理解している職員が参画するようにいたします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健所、区役所、協力医療機関、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の方を通じて、学校との連絡調整をおこなっています。必要に応じて行事のプリントをコピーさせていただいたり、情報の共有をおこなっています。送迎対応の際に遅れる可能性がある場合は、直接学校等とのやりとりをおこなっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		以前通っていた姉妹教室等を通して、情報共有と相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在該当児童がいないため、今後場面にに応じて必要な連携を図ってまいります。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の相談支援事業所との情報共有をおこなっております。また、地域ネットワーク会議に参加しており、区内他事業所との意見交換をおこなっています。スーパーバイズについては実施していませんが、状況に応じて対応してまいります。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			姉妹教室と合同で夏祭りを開催しています。同じ教室の児童のみではなく、地域の児童も参加し異年齢の児童とも交流する機会となっています。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	大田区児童発達支援地域ネットワーク会議に参加しており、他事業所との意見交換等を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	HUGで1日の様子を公開しています。また、状況に応じて電話で保護者との連絡をおこなっており、情報共有に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	面談等の際に、児童との関わり方についてお伝えするようにしています。今年度、家族支援プログラムを実施できてはませんが状況に応じて実施してまいります。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	見学や契約、問い合わせの際等に説明をおこなっています。また、変更があった際には、随時書面でお伝えする対応を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	モニタリング時やHUGでのやりとりなど、保護者の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	「放課後等デイサービス計画」(個別支援計画)を作成した際に、保護者に支援内容の説明を行い、同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	相談については随時受け付けており、内容に応じて適宜対応をおこなっております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	今年度保護者会を開催しており、保護者会終了後には、職員を交えての保護者同士で話し合う機会を設けております。夏祭りでは、多くの方が交流する機会となっております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情があった場合には、真摯に受け止め、職員間で共有し上席にも共有報告、迅速かつ適切に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	Facebook、InstagramなどSNSを活用して、週に1回児童の様子を発信しています。また、HUGでもご連絡しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報については鍵付き書庫内に保管しています。契約時に同意いただいた他事業所との連携・照会、緊急時における関係機関への情報提供を目的として使用させていただきます。それ以外で外部へ情報を出す事はありません。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	活動の説明をする時などは、お手本を提示しながら実際にやってみることで、理解につながるようにしています。また、保護者とも情報共有を図り、児童との意思疎通のやりとりがスムーズになるよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	小学校の校庭をお借りし、夏祭りを開催しております。又、体育館をお借りしクリスマスコンサートも開催いたしました。地域の方にも参加していただき、地域との交流を図っています。	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルを策定し、教室に保管しています。避難訓練では、避難場所である大森第三小学校まで移動し、移動経路も含めて振り返り等もおこなっています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画(BCP)を策定しております。有事に備えた避難訓練も年2回以上おこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時やモニタリング時にアセスメントシートを記入していただき、服薬やてんかん発作等に関する確認をおこなっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童には、保護者の同意を得ておやつを持参していただけるようご協力いただいております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画の作成をしています。また、安全管理に必要な研修や訓練等を実施し、安全に教室を利用できるよう努めています。	

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時には、マチコミやHUGを活用して保護者へ連絡する事を周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きた際には、状況や原因等を記録し職員間で今後の対応を協議・共有していくことで、再発防止に繋げています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員が研修に参加し、その内容を教室内でフィードバックをしていくことで、共有からの学びに繋げています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明をし、書面にてサインをしていただくことで同意を得ております。また、個別支援計画にもその旨を記載しております。	